

進捗状況 実施設計業務進行中！

今号では、創刊号でお知らせした実施設計業務委託の進捗状況についてご報告します♪

現在、計画案で詰まっていなかった公園施設（遊具、ベンチなど）の形や低木の種類などについて検討しています。これまでの検討結果ですが…

- （１）ダンキャスキップをムービング遊具に変更（揺れ動く機能が人気！）
- （２）合成木材を使用したベンチ（環境への配慮）
- （３）公園を取り囲む低木としてサツキツツジやヒラドツツジを植栽（きれいな花が咲き、常緑でボールが道路に転がり出ることを防止する効果を期待）

その他の項目についても引き続き検討し、次号にて報告したいと思います。



ムービング遊具
（イメージ）

今後の予定

8月末まで	実施設計業務
9月～10月	入札手続
11月～3月	工事
26年3月末	工事竣工
4月～6月	芝生養生期間
7月	オープン

コラム 公園名の由来について

「あすみが丘東5丁目荻生公園」という名称は、区画整理事業完了時に地元自治会からの要望を受けて決まりました。

地元自治会から提出された要望書を見ると「江戸中期の儒学者荻生徂徠の一時居住地の言い伝えに由来する」と書かれています。

荻生徂徠は、1666年江戸生まれの日本近代思想史の巨人とも称される人物です。父親は当時館林藩主だった徳川綱吉の侍医を務めていましたが、1679年に父親が本納村（現在の茂原市本納）に流され、25歳までそこで暮らします。その後、川越藩主だった柳沢吉保に仕え、将軍となった綱吉にも拝謁するようになります。

徂徠は、赤穂浪士の吉良邸討入事件（忠臣蔵で有名ですね。）に際して、四十七士に対して切腹を命ずるべきであると主張したことで有名です。

主君に対する忠義を果たしたということで賛美助命論が叫ばれる中で、断乎として処罰すべきだとしたのは、私論（主君の敵討ち）のために公論（幕府の法）を破るべきではないという強い思いがあったからだといわれています。

今は新しい住宅が立ち並び、あすみが丘東地区の町並みから江戸時代の様子をしのぶことは難しくなりましたが、公園の名称から昔に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。 参考「荻生徂徠「政談」」（講談社学術文庫）



▲荻生徂徠

あすみが丘東5丁目荻生公園だより

あすみが丘東5丁目荻生公園ができるまで

第2号

目次

1. 進捗状況
2. 今後の予定
3. コラム

連絡先

千葉市公園建設課
建設係
高瀬、進野
tel 245-5784
fax 245-5791
e-mail
kensetsu.URP@city.chiba.lg.jp